

竜王町における家庭教育支援の取組

■家庭教育を取り巻く現状

当町では、家庭の教育力向上に取り組んでいるものの家庭における子どもたちの生活は、新型コロナウイルス感染症による感染拡大によって、皮肉にも今まで以上にスマートフォン、ゲーム等の情報通信機器に割く時間が多くなったことなどから、十分な睡眠時間の確保などの「基本的な生活習慣」が根付かない状況です。このことに起因して、家庭学習の習慣も十分とはいえない。

一方、保護者においては、核家族化や地域でのつながりの希薄化など家庭を取り巻く環境が大きく変化し、家庭が抱える問題も複雑化・多様化が進む中、家庭の教育力低下や孤立化が顕著となっており、従来の啓発・研修型の家庭教育支援では十分とはいえず、訪問型の「とどける」「つながる」仕組み作りが必要である。

■家庭教育支援で目指す姿（課題解決のために・・・）

学校教育のめざす「生きて働く基礎学力の定着」と生涯学習の掲げる「規則正しい生活習慣の確立」を『車の両輪』と位置付ける中、学社連携のもと、子どもたちの『学ぶ力の向上』に向け、家庭教育の担い手である保護者などを対象として、テーマを設定し、研修会を開催する。

また、町内においても前述のコロナ禍による生活への影響や人とのつながりの希薄化がますます深刻化している。核家族化や地域における地縁的なつながりの減少と多様な文化をルーツに持つ家庭の増加など、これまでの地域社会とは異なる状況の中、相談できる人がなく孤立化が危惧される家庭もあり、個々の家庭の教育力の差はますます広がっている。

これらを背景に社会全体での家庭教育支援の必要性は一層高まっている状況を踏まえ、令和4年度に引き続き、アウトリーチ型の支援に取り組み、問題の発生予防や早期発見につなげ、保護者とつながる支援を実施展開する。

■本年度の活動

- (1) 竜王こどもスマホサミット～教育フォーラム 2023～の開催（11月11日）
- (2) 家庭教育支援サポーターによる支援の実施（週3回）
- (3) 家庭教育支援研修会の開催（9月28日、11月16日、1月25日）
- (4) 子育て講座「ペアレントトレーニング」の開催（年6回：10月～2月）

■訪問型家庭教育支援の実践内容

昨年度のモデル事業に引き続き、2名のサポーターによるつながりが必要と思われる家庭へ支援を実施した。学校との調整は町スクールソーシャルワーカーが行い、併せて、関係者によって各家庭の状況をアセスメントしながら必要な支援を検討した。また、本年度はペアレントトレーニング（講師は町SSW）に参加された方が親子そだてサロン＊tomoni＊（子育てサロンを名称変更し継続実施）へつながるなど、地域の支援拠点を活用し、親や子どもへの温かいまなざしを地域に増やす活動を展開した。

■本年度の成果

小学校が支援につなげたい家庭とつながりを持つことができ、地域の支援人材・支援拠点（ソーシャルキャピタル）にもつなげることができた。また、多種多様な背景を持つすべての家庭を包摂する地域社会づくり（社会的包摂）に向けた方向性が見えてきた。

■今後の課題

家庭教育支援サポーターの資質の向上は必須である。従事していただくにあたり、継続した研修機会の保障が必要であり、新たなサポーターの発掘も喫緊の課題である。

報告書記入者（生涯学習課 生涯学習係 主査）

竜王っ子の『学ぶ力』を育てよう！～心豊かでたくましい竜王っ子をめざして～

竜 王 町	本事業実施年度 平成 24 年度
活動内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援の実施 <input type="checkbox"/> 地域人材の養成 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援体制の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育を支援する取組	
年間活動日数 (のべ)	(下記参照)

家庭教育支援員や支援チームに関すること	
A : 家庭教育支援チーム数	(1) チーム
B : 家庭教育支援員数	(2) 人
C : 家庭教育支援チームや家庭教育支援員の配置場所数	(1) 個所
D : 前項 (C) の配置場所名	(竜王町教育委員会)

■ 活動の具体的内容

○訪問型家庭教育支援の実践等

- ・ 学校訪問 (週 3 回) し、気になる保護者とのつながりを持つ。
- ・ 子育て家庭の親同士が出会い、つながり、育児等の悩みを共有したり、互いが支え合う場として、親子そだてサロン*tomoni*の開設 (月 1 回)
- ・ 気になる家庭へのアプローチと家庭訪問の実施
- ・ 子ども食堂、暮らし育て組の活動に子育てに悩む保護者をつないでいく取組



【 親子そだてサロン*tomoni* 】

○学習講座・行事の実施等

- ・ 竜王こどもスマホサミット～教育フォーラム 2023～の開催 (11 月 11 日)
- ・ 家庭教育支援研修会の開催 (9 月 28 日、11 月 16 日、1 月 25 日)
- ・ 子育て講座「ペアレントトレーニング」の開催 (年 6 回 : 10 月～2 月)



【 子育て講座「ペアレントトレーニング」 】

○連絡会議・ケース会議の設置、運営等

- ・ 両小学校と連携のあり方や個々の事例等についてチーム会議を実施

○保護者に対する情報提供等

- ・ 町広報りゅうおうへの活動紹介の掲載 (令和 5 年 7 月号)
- ・ ホームページの開設、町防災行政無線での案内

■ 特徴的な活動内容

○竜王こどもスマホサミット～教育フォーラム 2023～

11 月 11 日 (土) 午後開催。対象者は、町内教職員、PTA 関係者、社会教育関係者、地域住民等。「私からあなたへ、そして、家庭から地域へ。みんなでめざそう「こどもまんなか社会」！～合言葉は“早寝早起き朝ごはん”と“作ろう、守ろう、わが家のスマホルール”～」のテーマに基づき、兵庫県立大学環境人間学部の竹内和雄教授を進行役をお願いし、「こどもスマホサミット」として開催した。小学校 1 年生から中学校 3 年生の 918 名を対象に実施したアンケート調査の結果を基に当町の子どもたちとスマホとの関係について、児童・生徒・保護者・教諭の生の声を聞くとともに、ネット接続の状況やスマホ依存度など、その現状を学ぶ機会となった。

○親子そだてサロン*tomoni*

日ごろ子育てをがんばる親同士が、悩みを打ち明けたり、共有したりできるホッと一息つける場所として開設。語り合える機会を持つことで、同じ悩みを持つ親同士での支え合いが生まれている。また、相談事には、家庭教育支援サポーターやスクールソーシャルワーカーと一緒に考え、必要に応じて関係機関とも連携している。

○家庭教育支援研修会

県スクールソーシャルワーカーや町内医療機関の医師を講師に、「発達に合わせた子どもへのかわり方」、「お医者さんに聞くスマホやゲーム依存」をテーマに 3 回の研修会を開催した。子育てをする中で不安や悩みなどを抱えている保護者を対象に貴重な学びの場となった。

■ 実施に当たっての工夫

- 教育フォーラムでは、案内チラシを作成し、PTA 関係者や全戸に配付した。185 名の参加者を集めることができた。

■ 事業の成果

- 教育フォーラムでは、当町の子どもたちとスマホとの関係、ネット接続の状況から、全国平均を上回る危機的状況にあるスマホ依存度について、参加者が喫緊の課題として受け止める場となった。アンケート結果では、「スマホルールについて早速家庭で話し合う、子どもにスマホをもたせる時期について考えたい」という声も聞かれ、基本的な生活習慣の確立に向け、家庭教育の重要性を改めて認識するとともに、参加者の一部にはスマホ使用にかかる家庭でのルールづくりを実践する姿が見られた。

■ 事業実施上の課題

- 教育フォーラムは、参加者が固定化傾向にあり、真に家庭教育支援が必要な家庭への啓発や支援には、直接的に結びついていない。「気づき」が必要な家庭の関係者に参加してもらえる研修会や啓発方法について検討していく必要がある。

報告書記入者 (生涯学習課 生涯学習係 主査)